

総評

「ぶらぶらと二月はひがし商店街」。

たくさんさんの楽しい句を見たあとで、
 思わず私が詠んだひがし商店街の五七五です。
 冬が終わり、春の始まる二月にはあてもなくひがし商店街を歩きたい。
 一杯飲むのもいいし、何かを買うのもよい。
 たとえば次の句のように。

赤が好き白も大好きシクラメン

小雪

初雪や友と立ち寄る帽子店

すみれ

居酒屋のがしらの煮つけ外は雪

アサちゃん

シクラメン、帽子、がしらの煮つけ。

それらが混在するとか、さりげなくあるのが
 ひがし商店街なのでしょう。

鬼貫がひよいと顔出す春の宵

紫桔梗

鬼貫と酒汲み交わすストリート

ぼんぼん

江戸時代のモダンな俳人、鬼貫もこの商店街のなじみ客らしい。
 いいなあ、隣の客が鬼貫だなんて。

以上、今回の入選句の一部を紹介しました。
 五七五が弾む商店街って、日本じゅうでここだけかも。

言うまでもないだろうが、言葉が弾むとき、
 人は生き生きと弾んでいます。

坪内稔典

たくさんさんの投句ありがとうございました。

氷点下の厳しい冷え込みとなる日が続いたからで
 しょうか。今年は雪を織り込んだ句が目立ちま
 した。寒い中、ひがし商店街に足を運んで投句
 してくださった皆さまに感謝いたします。

伊丹阪急駅東商店会会長 吉川光治

第5回 ひがし商店街

五七五大賞

入選句集

投句総数
955 句

募集期間：2016年12月1日(木)
 ~2017年1月19日(木)

表彰式：2017年2月18日(土)

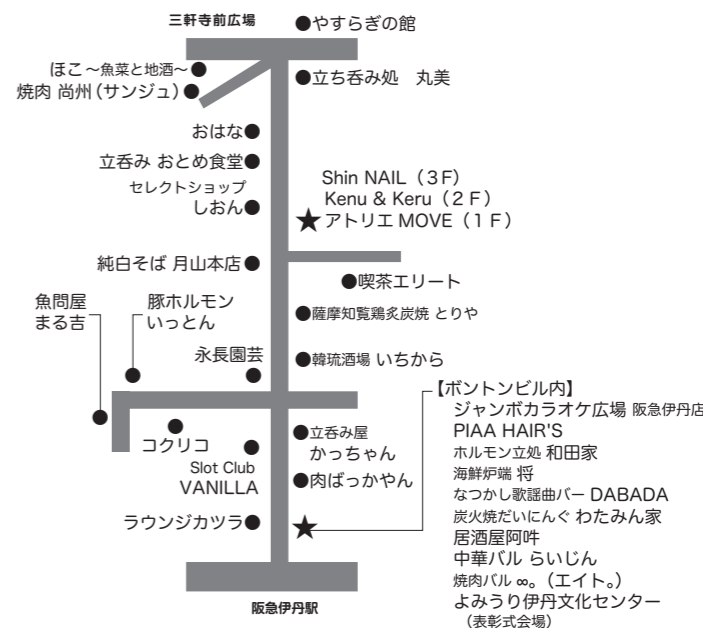
選者：
坪内稔典

(伊丹大使・柿衛文庫也雲軒塾頭)
 五七五大賞実行委員会

瓦版

ひがし商店街で見つけた、
 うれしい・楽しい・おいしいを
 五・七・五でつぶやいてもらいました。

店舗賞提供店



主催：伊丹阪急駅東商店会
 運営：五七五大賞実行委員会
 協賛：伊丹市 伊丹市教育委員会 伊丹市観光物産協会 公益財団法人柿衛文庫 伊丹都市開発株式会社
 後援：公益財団法人伊丹市文化振興財団 エフエムいたみ(伊丹コミュニティ放送株式会社)